

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証してください。実績の検証は法人ごとに行うものであり、法人間の比較を行うものではありません。

委員氏名 []

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1ブロック：1-1-1 より質の高い医療の提供～ 1-1-2 患者・住民サービスの向上

1-1-1 より質の高い医療の提供

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																				
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																																																																																																																																		
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																																																																																																			
<p>(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備 項目番号01 高度X線CT装置（MDCT）、MR I等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進めるため、リースの活用も考慮し、中期計画期間中（平成26年度まで）の主要医療機器の更新・整備計画（平成22年度定策定）に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。</p>	<p>・平成24年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器の更新・整備するとともに、導入機器の稼働状況の把握と向上に努め良好な実績を出すことができた。 ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案しつつ、当センターの目指す高度医療と併せて人材育成を見据えた視点から、先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</p> <p>代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機名</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）</td> <td>前立腺がんの手術への保健適用となったことにより導入</td> </tr> </tbody> </table> <p>更新・整備を実施した機器の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アブレーションシステム</td> <td>H22</td> <td>15</td> <td>76</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>H22</td> <td>0</td> <td>1,208</td> <td>2,149</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>H22</td> <td>0</td> <td>1,665</td> <td>1,478</td> </tr> <tr> <td>MR I装置のアップグレード</td> <td>H23</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>4,895</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房用X線撮像装置</td> <td>H23</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>4,197</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H23</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>1,820</td> </tr> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>主要検査機器の稼働実績件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PET (1台)</td> <td>外来</td> <td>904</td> <td>998</td> <td>1,288</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>104</td> <td>73</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MR (2台)</td> <td>外来</td> <td>7,412</td> <td>7,994</td> <td>10,105</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1,663</td> <td>1,694</td> <td>2,168</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">CT (2台)</td> <td>外来</td> <td>21,798</td> <td>22,636</td> <td>24,488</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>5,514</td> <td>5,841</td> <td>6,246</td> </tr> </tbody> </table>	機名	整備目的・用途等	内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）	前立腺がんの手術への保健適用となったことにより導入	機器名	年度	H22	H23	H24	3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	15	76	87	ガンマカメラ装置	H22	0	1,208	2,149	X線TV装置	H22	0	1,665	1,478	MR I装置のアップグレード	H23	—	0	4,895	デジタル式乳房用X線撮像装置	H23	—	0	4,197	超音波診断装置	H23	—	0	1,820	内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）	H24	—	—	2	項目・年度	H22	H23	H24	PET (1台)	外来	904	998	1,288	入院	104	73	66	MR (2台)	外来	7,412	7,994	10,105	入院	1,663	1,694	2,168	CT (2台)	外来	21,798	22,636	24,488	入院	5,514	5,841	6,246	III	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 項目番号01 高度医療機器について、稼働率、耐用年数及び現在の状態等を勘案し、中期的な更新計画を作成する。</p> <p>高精度放射線治療システムについて、本年秋の稼働に向け、治療棟の建設、機器の設置、関係省庁への許認可手続きを進める。</p>	III	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 項目番号01 高度医療機器について、耐用年数、経過年数などから中期的な更新計画を作成した。</p> <p>・取得価格3千万円以上の 高度医療機器について、耐用年数、経過年数などから中期的な更新計画を作成した。</p> <p>・高精度放射線治療システム（ノバルISTx）の設置、当該機器を収容する高精度放射線治療センターの建築、運用開始に向けた関係省庁への許認可手続きを行い12月から運用を開始した。また、平成25年度中の本格運用に向けて照射量や減衰などのデータ収集を行った。</p> <p>・医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめ、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進めた。</p> <p>【更新・整備を実施した機器の稼働状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生体情報管理システム</td> <td>H23</td> <td>毎日</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H23</td> <td>毎日</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>電子内視鏡システム</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>電気生理記録システム</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>2回/週</td> </tr> <tr> <td>X線デジタル画像撮影装置</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>毎日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成23・24年度に更新整備した主な機器が対象</p>	機器名	整備年度	H23	H24	生体情報管理システム	H23	毎日	毎日	超音波診断装置	H23	毎日	毎日	電子内視鏡システム	H24	—	毎日	電気生理記録システム	H24	—	2回/週	X線デジタル画像撮影装置	H24	—	毎日	III	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 項目番号01 高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、中期目標の期間における更新及び整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を進める。</p> <p>医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。</p> <p>高額医療機器の更新実績 ○飛騨南部地域における救急医療の基幹病院として急性期医療の診断等に活用するため、超音波画像診断装置の更新及びデジタル式乳房X線診断装置を補充した。</p> <p>◆購入価格・更新(補充)時期 超音波画像診断装置 13,755千円 平成24年12月 デジタル式乳房X線診断装置 21,295千円 平成24年11月</p> <p>◆超音波画像診断装置の更新により診断能力の向上と検査室外での高機能検査ができるほか、デジタル式乳房X線診断装置の補充により診断精度の向上とフィルム経費の低減が見込まれる。</p> <p>【更新・整備を実施した機器の稼働状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃部健診用デジタルX線装置</td> <td>H22</td> <td>0</td> <td>2,272</td> <td>2,294</td> </tr> <tr> <td>16列型カブスX線CT装置</td> <td>H23</td> <td>—</td> <td>47</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>超音波画像診断装置</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,225</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房X線診断装置</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>182</td> </tr> </tbody> </table> <p>主な検査機器の稼働実績件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MR (1台)</td> <td>入院</td> <td>706</td> <td>735</td> <td>636</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>2,492</td> <td>2,444</td> <td>2,420</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">CT (2台)</td> <td>入院</td> <td>2,332</td> <td>1,878</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>6,529</td> <td>6,457</td> <td>6,435</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	整備年度	H22	H23	H24	胃部健診用デジタルX線装置	H22	0	2,272	2,294	16列型カブスX線CT装置	H23	—	47	70	超音波画像診断装置	H24	—	—	1,225	デジタル式乳房X線診断装置	H24	—	—	182	項目・年度	H22	H23	H24	MR (1台)	入院	706	735	636	外来	2,492	2,444	2,420	CT (2台)	入院	2,332	1,878	1,771	外来	6,529	6,457	6,435	III
機名	整備目的・用途等																																																																																																																																																									
内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）	前立腺がんの手術への保健適用となったことにより導入																																																																																																																																																									
機器名	年度	H22	H23	H24																																																																																																																																																						
3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	15	76	87																																																																																																																																																						
ガンマカメラ装置	H22	0	1,208	2,149																																																																																																																																																						
X線TV装置	H22	0	1,665	1,478																																																																																																																																																						
MR I装置のアップグレード	H23	—	0	4,895																																																																																																																																																						
デジタル式乳房用X線撮像装置	H23	—	0	4,197																																																																																																																																																						
超音波診断装置	H23	—	0	1,820																																																																																																																																																						
内視鏡手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）	H24	—	—	2																																																																																																																																																						
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																																																																																							
PET (1台)	外来	904	998	1,288																																																																																																																																																						
	入院	104	73	66																																																																																																																																																						
MR (2台)	外来	7,412	7,994	10,105																																																																																																																																																						
	入院	1,663	1,694	2,168																																																																																																																																																						
CT (2台)	外来	21,798	22,636	24,488																																																																																																																																																						
	入院	5,514	5,841	6,246																																																																																																																																																						
機器名	整備年度	H23	H24																																																																																																																																																							
生体情報管理システム	H23	毎日	毎日																																																																																																																																																							
超音波診断装置	H23	毎日	毎日																																																																																																																																																							
電子内視鏡システム	H24	—	毎日																																																																																																																																																							
電気生理記録システム	H24	—	2回/週																																																																																																																																																							
X線デジタル画像撮影装置	H24	—	毎日																																																																																																																																																							
機器名	整備年度	H22	H23	H24																																																																																																																																																						
胃部健診用デジタルX線装置	H22	0	2,272	2,294																																																																																																																																																						
16列型カブスX線CT装置	H23	—	47	70																																																																																																																																																						
超音波画像診断装置	H24	—	—	1,225																																																																																																																																																						
デジタル式乳房X線診断装置	H24	—	—	182																																																																																																																																																						
項目・年度	H22	H23	H24																																																																																																																																																							
MR (1台)	入院	706	735	636																																																																																																																																																						
	外来	2,492	2,444	2,420																																																																																																																																																						
CT (2台)	入院	2,332	1,878	1,771																																																																																																																																																						
	外来	6,529	6,457	6,435																																																																																																																																																						
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 H23 検証結果	III III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 H23 検証結果	III III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証結果 H23 検証結果	III III																																																																																																																																																		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																		
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																	
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																
<p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02 必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者の再雇用制度を適正に運用する。</p> <p>平成22年度に設置した「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」が行ったアンケートの調査結果の意見を踏まえ、24時間保育や病児病後児保育の実施やワークシェアリングなど労務環境の改善について検討する。</p> <p>7:1看護体制(看護職員の二交代制)を維持する。</p> <p>医師事務作業補助職員、看護事務補助職員等を配置拡充する。 [医師事務作業補助職員:32人(平成23年度)→39人、看護事務補助職員:20人(平成23年度)→25人]</p>	<p>IV</p> <p>・年度当初看護師の定数562人に対して現員数は530人であり、長時間勤務やローテーション維持並びに年次有給休暇の取得などに支障があり、この状態の改善として募集活動の強化に取り組んだ。</p> <p>・採用試験の4回実施や、看護学校の訪問や各種ガイダンス等への参加、新聞掲載等、雇用確保のため積極的に働きかけ約1.5倍の採用ができた。</p> <p>・年俸を定めて給与を支給する非常勤医師 6名</p> <p>・平成24年度中の病児病後児保育所開始に向けて保育室の設置と運用について検討した。設備環境上の問題もあり早急な開設は困難であるが、新棟内での設置が決定されており、平成27年度開設までの間の対策として、職員に向けて院外の病児病後児保育サービスの紹介等を行っていくこととし、「岐阜県内育児サービス紹介パンフレット」を作成した。</p> <p>また、平成27年度新棟内開設予定の病児病後児保育所についても具体的に検討することとし、職員のニーズを把握するため「病児・病後児保育所についてのアンケート」を実施した。</p> <p>委員会設置と開催実績等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児保育の実施について)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>第2回委員会開催(主な議題:①県内において病児病後児保育事業を実施している主な市町村について、②平成27年度開設予定院内病児病後児保育所図面について)</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第3回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設準備について、②離職対策について)</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>病児・病後児保育所についてのアンケート実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>・看護師人数(521→530人)の増員などで、7:1看護体制を6.2%上回る体制を維持できた。</p> <p>・医師事務作業補助(医療ケア)、病棟・外来看護事務補助(病棟等看護ケア)等を配置拡充した。</p> <p>・医師補助・看護補助体制の拡充状況 [医療クラーク:48人、病棟等看護クラーク:26人(平成24年度末)]</p>	時期	内容	7月	第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児保育の実施について)	10月	第2回委員会開催(主な議題:①県内において病児病後児保育事業を実施している主な市町村について、②平成27年度開設予定院内病児病後児保育所図面について)	12月	第3回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設準備について、②離職対策について)	1月	病児・病後児保育所についてのアンケート実施	<p>IV</p> <p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02 医師の業務の緩和を図るために、計画的な医師事務作業補助者の採用に努める。</p> <p>看護師については7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努める。</p>	<p>III</p> <p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備</p> <p>・医師事務作業補助者を16名から24名に増員し、医師の過密業務の軽減を図った。</p> <p>・放射線業務について、高精度放射線治療機器の運用のため、平成24年4月1日に職員6名を採用し、夜間・休日の勤務における二交代制を導入した。</p> <p>・看護師の人員数確保について、潜在看護師の発掘を目的として、職場復帰支援プログラムを実施し、採用の際に個別のライフスタイルに柔軟に対応した勤務形態を提案し、非常勤看護師の積極的な採用に努めた。</p>	<p>III</p> <p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02 より質の高い医療を安定的に提供するため、医師・看護師職員をはじめとする医療職の必要数確保及び定着を図る。</p> <p>特に医師の勤務条件を緩和するため、医師確保と医師定着化の対策を実施する。</p> <p>・下呂温泉病院勤務医師や岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置した地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成</p> <p>・優秀な医師を確保するため、医師の給与面での優遇措置</p> <p>・岐阜県及び圏域市町村と連携した医師確保に向けた様々な取り組み</p> <p>・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇用</p> <p>・インターネットや医学専門誌などのメディアの積極的活用による医師の公募</p> <p>・県民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう非常勤医師の活用</p> <p>・看護師負担の軽減とともに高い患者サービスも可能な、7対1看護体制維持に必要な看護師数の確保</p>	<p>IV</p> <p>平成23年度に年俸制の雇用制度を構築したが、平成24年度も引き続き県及び下呂市と連携して年俸制による医師2人を雇用し、産婦人科部門の体制維持を図った。</p> <p>平成24年度から皮膚科の常勤医師を医師募集エージェントの紹介で確保した。</p> <p>平成22年度から定年を迎えた病理医師を1年契約で再雇用しており、平成24年度も引き続き雇用し、病理診断部門の体制維持を図った。</p> <p>・医師募集エージェントへの登録(インターネットの活用) 5社に募集情報を登録</p> <p>・特定の診療科目だけではなく、医師確保ということで幅広い科目の医師に対して情報提供を依頼し、医師確保の活動を実施した。</p> <p>非常勤医師による常勤医不在の診療科(小児科、耳鼻いんこう科、眼科)及び常勤医不足の診療科への支援により、地域県民ニーズに対応した医療の確保を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">診療依頼延べ回数</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,689回</td> <td>2,077回</td> <td>1,809回</td> </tr> </tbody> </table> <p>法人化のメリットである弾力的な職員採用を最大限に行い、H24年度中に 【正職員】助産師1名、看護師12名(うち2名中途採用、1名転籍) 【非常勤】看護師4名、業務補助(看護師)2名を採用し、7対1看護体制の維持に必要な看護師を確保した。</p>	診療依頼延べ回数			22年度	23年度	24年度	1,689回	2,077回	1,809回
時期	内容																							
7月	第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児保育の実施について)																							
10月	第2回委員会開催(主な議題:①県内において病児病後児保育事業を実施している主な市町村について、②平成27年度開設予定院内病児病後児保育所図面について)																							
12月	第3回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設準備について、②離職対策について)																							
1月	病児・病後児保育所についてのアンケート実施																							
診療依頼延べ回数																								
22年度	23年度	24年度																						
1,689回	2,077回	1,809回																						

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																				
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																		
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																																			
<p>医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。</p> <p>院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育の実施に向け時間延長等を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。</p> <p>ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。</p>	<p>・看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底した。</p> <p>・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。</p> <p>・長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。</p> <p>・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替指導を徹底した。</p> <p>代休等取得状況 (件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>457</td> <td>691</td> <td>856</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成13年から岐阜県総合医療センター保育施設運営協議会を設置し、医療センターに勤務する職員（非常勤職員含む）の保育事業を継続して実施している。</p> <p>平成24年2月1日からは、24時間保育の受け入れを開始した。</p> <p>・通常保育時間 7:45～19:00 (延長保育時間 7:00～22:30)</p> <p>・院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 36人 最大預かり児童数 44人 月平均39.3人</p> <p>院内保育所の運営状況 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>36人</td> <td>44人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・病児保育については、平成27年度に完成予定の新病棟内に、病児保育室及び病後児保育室をそれぞれ設置するよう実施計画に盛り込んだほか、運用については「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」において継続的に検討している。</p> <p>・ハラスメントの被害相談窓口を総務課長に一本化、ハラスメント防止に関する啓発ポスターを院内各所に掲示し、周知を図った。</p> <p>・総合相談センターを設置し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化している。</p> <p>・H23年度から総合受付にコンシェルジュを設置し、患者相談を含む各種問い合わせに対応できる態勢を整備している。</p> <p>・患者や家族から各種相談を受け付けている（相談内容：がん相談（一般、セカンドオピニオン、退院調整）、がん以外（なんでも相談、意見・苦情、セカンドオピニオン外来、退院調整）。</p>	区 分	H22	H23	H24	代休取得	18	17	35	週休日振替	457	691	856		H22	H23	H24	入所者数	36人	44人	38人	保育士数	8人	8人	10人		<p>平成23年12月に看護職員を対象として実施した院内保育所に関する調査結果を踏まえ、夜間保育の実施について検討する。</p> <p>・職務に専念できる職場環境整備の一環として、院内保育所での夜間保育のための施設整備、安心して保育所を利用できるよう、保護者参加の行事の実施（クリスマス会）、保護者の意見を反映しやすい組織づくりのため、運営体制・規程の改定を行った。</p> <p>【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37人</td> <td>44人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	入所者数	37人	44人	37人	保育士数	10人	9人	8人			
区 分	H22	H23	H24																																							
代休取得	18	17	35																																							
週休日振替	457	691	856																																							
	H22	H23	H24																																							
入所者数	36人	44人	38人																																							
保育士数	8人	8人	10人																																							
区分\年度	H22	H23	H24																																							
入所者数	37人	44人	37人																																							
保育士数	10人	9人	8人																																							

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																									
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																							
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																							
		自己評価				自己評価				自己評価																							
「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する警備強化を図る。		平成24年度実績件数 <table border="1"> <tr> <td>がん相談</td> <td>1,646</td> </tr> <tr> <td>がん相談支援</td> <td>922</td> </tr> <tr> <td>セカンドオピニオン</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>退院調整室</td> <td>694</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td>7,288</td> </tr> <tr> <td>なんでも相談</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>(意見・苦情)</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>セカンドオピニオン</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>退院調整室</td> <td>7,138</td> </tr> <tr> <td>医療相談</td> <td>4,506</td> </tr> </table>		がん相談	1,646	がん相談支援	922	セカンドオピニオン	30	退院調整室	694	がん以外の相談	7,288	なんでも相談	132	(意見・苦情)	17	セカンドオピニオン	18	退院調整室	7,138	医療相談	4,506	・医療安全に関する研修において、患者や家族への対応についても取り上げ、実施した。									
		がん相談	1,646																														
がん相談支援	922																																
セカンドオピニオン	30																																
退院調整室	694																																
がん以外の相談	7,288																																
なんでも相談	132																																
(意見・苦情)	17																																
セカンドオピニオン	18																																
退院調整室	7,138																																
医療相談	4,506																																
※()の数値は、なんでも相談の内数。																																	
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	H23 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	H23 検証 結果 IV	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	H23 検証 結果 III																						

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																					
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																			
		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																																																			
<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>項目番号03</p> <p>岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>		<p>・平成24年度医師の研修派遣者数実績5名</p> <p>米国 (カルフォルニア大学サンディエゴ校) 神奈川県 (横浜労災病院) 東京都 (公益財団法人がん研究会 有明病院) 静岡県 (静岡県立総合病院) 米国 (ハーバード大学医学部 プリガム・アンド・ウィメンズ病院)</p> <p>・専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・先進医療視察のための訪米研修 ・第72回米国糖尿病学会議 ・第63回ドイツ脳神経外科学会・日独合同会議 ・第17回世界気管支学会 (WCBIP2012) ・ERSAnnual Congress—Vienna2012 ・第2回ネパールー日本整形災害外科シンポジウム ・21st EADV CONGRESS Skin is vital 他 </div> <p>医師の研修派遣・受入実績人数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>6人</td> <td>8人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>			H22	H23	H24	派遣	1人	3人	5人	受入	6人	8人	6人	III	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>項目番号03</p> <p>名古屋大学、名古屋市立大学とは、従来どおり関連する各科の医師の教育研修や連携を継続する。特に名古屋大学とは、岐阜県及び他病院と連携して研修医の確保及び優れた医師の育成を図っていく。</p> <p>臨床研修センター及び研修管理委員会を中心として、医師としての資質向上及び病院職員として必要となるコミュニケーション能力や問題を解決する力の養成を行う。</p>		III	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>・医師確保対策として、名古屋大学をはじめとする関連大学及び岐阜大学の病院実習生を積極的に受け入れた。</p> <p>【実績】 名古屋大学1名、名古屋市立大学8名、岐阜大学1名</p> <p>・岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、研修医を中心とした若手医師用の教育コンテンツとして「臨床手技の動画検索システム」を試験的に運用した。</p> <p>・臨床研修管理委員会と臨床研修センターが中心となり、研修体制の見直しを行った。(研修医による各診療科の評価の実施、研修医からの要望に応じた外部講師による勉強会の開催)</p> <p>・医師としての資質向上を目的として、病院が費用負担し延べ219人の医師が学会に参加した。第16回アメリカ心不全学会、アメリカ合衆国心臓病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝胆膵外科学会、日本臨床救急医学会 など</p> <p>【海外学会への派遣実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>派遣用務</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第16回アメリカ心不全学会 アメリカ合衆国心臓病学会(ACC)</td> <td>アメリカ合衆国・シトル アメリカ合衆国・サフランスコ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医師の研修派遣・受入実績人数】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>328人</td> <td>304人</td> <td>302人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>26人</td> <td>20人</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table>		派遣用務	派遣先	第16回アメリカ心不全学会 アメリカ合衆国心臓病学会(ACC)	アメリカ合衆国・シトル アメリカ合衆国・サフランスコ	区分\年度	H22	H23	H24	派遣	328人	304人	302人	受入	26人	20人	16人	III	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の実習による優れた医師の養成</p> <p>項目番号03</p> <p>岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携により多くの臨床研修医の受け入れと指導体制の充実を図り、特に地域医療を志す医師の養成を行う。</p> <p>受入状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>県総合医療センター</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9名</td> <td>11名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	H22	H23	H24	岐阜大学医学部附属病院	3名	3名	3名	県総合医療センター	4名	4名	4名	岐阜市民病院	2名	4名	4名	合計	9名	11名	11名	III
					H22	H23	H24																																																						
派遣	1人	3人	5人																																																										
受入	6人	8人	6人																																																										
派遣用務	派遣先																																																												
第16回アメリカ心不全学会 アメリカ合衆国心臓病学会(ACC)	アメリカ合衆国・シトル アメリカ合衆国・サフランスコ																																																												
区分\年度	H22	H23	H24																																																										
派遣	328人	304人	302人																																																										
受入	26人	20人	16人																																																										
病院名	H22	H23	H24																																																										
岐阜大学医学部附属病院	3名	3名	3名																																																										
県総合医療センター	4名	4名	4名																																																										
岐阜市民病院	2名	4名	4名																																																										
合計	9名	11名	11名																																																										
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		III	III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		III	III	◎特筆すべき点・進捗状況 評価に関する意見・その他コメント		III	III																																																		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																				
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																			
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																		
<p>(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 項目番号04 より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p>	<p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を継続して確保している。</p> <p>・専門看護師数 小児看護専門看護師 2名 がん看護専門看護師 1名</p> <p>・認定看護師数 がん化学療法看護認定看護師 2名 がん性疼痛看護認定看護師 1名 感染管理認定看護師 2名 救急看護認定看護師 1名 小児救急看護認定看護師 1名 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名 皮膚・排泄ケア認定看護師 3名 新生児集中ケア認定看護師 1名 (平成24年度認定登録：2名)</p> <p>・研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td> <p>[長期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中ケア H24.4→H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4→H25.3 1名 ・がん放射線療法看護 H24.7→H25.2 1名 <p>※平成25年7月認定予定</p> <p>[短期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護管理制度 H23:5名→H24:6名 ・実習指導者講習会 H23:1名→H24:2名 ・医療安全研修 H23:5名→H24:2名 </td> </tr> <tr> <td>学会等参加</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・その他 看護学会 延べ H23:98→H24:153名 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	認定看護師	<p>[長期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中ケア H24.4→H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4→H25.3 1名 ・がん放射線療法看護 H24.7→H25.2 1名 <p>※平成25年7月認定予定</p> <p>[短期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護管理制度 H23:5名→H24:6名 ・実習指導者講習会 H23:1名→H24:2名 ・医療安全研修 H23:5名→H24:2名 	学会等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・その他 看護学会 延べ H23:98→H24:153名 	IV	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 項目番号04 認定看護師の資格取得のための研修を計画的に実施する。</p> <p>「脳卒中リハビリテーション認定看護師」の研修機関合格者が確実に資格取得できるよう支援を行う。</p> <p>「慢性心不全認定看護師」及び「糖尿病認定看護師」の資格取得希望者に対し、確実に取得できるよう支援を行う。</p> <p>専門看護師の資格取得に向け支援を行う。</p>	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進</p> <p>・認定看護師の資格取得のための研修を計画的に実施した。</p> <p>・「脳卒中リハビリテーション認定看護師」、「慢性心不全認定看護師」の資格取得希望者に対して、研修機関での研修を確実に受講できるように支援を行った。(研修修了済み)</p> <p>・「糖尿病認定看護師」の資格取得希望者に対し、支援を行った。平成25年度も引き続き支援を行う。</p> <p>・「認知症認定看護師」の資格取得希望者に対し、支援を行った結果、1名が研修機関に合格した。(平成25年に研修に参加する予定)</p> <p>・専門看護師については、「クリティカルケア専門看護師」資格の取得に向けて、1名が名古屋市立大学大学院の「急性・重症患者看護専門看護師コース」を受講した。受講に際し、勤務上の配慮など確実に受講できるように支援を行った。</p>	III	<p>(4) 認定看護師及び看護の専門性を高める資格取得の促進 項目番号04 患者及びその家族に接する機会が多い看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、認定看護師及び看護の専門性を高める資格取得を促進する。 平成24年度はがん緩和ケア認定看護師の取得を目指す。 また、実習指導者養成講習会を受講することにより、看護師教育と連携して看護の質の向上を目指す。</p>	<p>◆認定看護師 認定看護師教育課程(緩和ケア) 1名受講 認定看護管理者研修(セカンドレベル) 1名受講</p> <p>◆看護教員 専任教育養成講習会 1名受講 看護師実習指導者講習会 1名受講</p> <p>◆医療安全管理者研修 1名受講</p> <p>◆その他の専門研修参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん化学療法を支える看護 1名 ・認知症患者の看護 6名 ・スキンケア 12名 ・がん性疼痛緩和ケア 3名 ・災害看護 9名 ・呼吸ケア 4名 ・糖尿病看護 4名 <p>◆今後の予定 専任教員養成講習会参加と緩和ケア認定看護師資格取得、また摂食嚥下及び皮膚排泄ケア等認定部門については、資格取得に向け、現在臨床で症例(事前5例のケース)について取り組んでいるなど資格取得に向けて取り組んでいる。</p> <p>認定・専門看護師の研修会参加人数 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	24年度	認定看護師	2	0	2	専門看護師	0	0	0	III
項目	内容																									
認定看護師	<p>[長期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中ケア H24.4→H25.3 1名 ・糖尿病看護 H24.4→H25.3 1名 ・がん放射線療法看護 H24.7→H25.2 1名 <p>※平成25年7月認定予定</p> <p>[短期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護管理制度 H23:5名→H24:6名 ・実習指導者講習会 H23:1名→H24:2名 ・医療安全研修 H23:5名→H24:2名 																									
学会等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・その他 看護学会 延べ H23:98→H24:153名 																									
	22年度	23年度	24年度																							
認定看護師	2	0	2																							
専門看護師	0	0	0																							

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院							
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価	H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価	H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価	
		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項					
単位：人（各年度末時点）								【認定看護師・専門看護師数】（各年度末時点）				認定看護師数（各年度末時点）			
	分野	H22	H23	H24	区分	分野	H22 人数	H23 人数	H24 人数	分野	H22	H23	H24		
認定	がん化学療法	1	1	2	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2	皮膚排泄ケア	1名	1名	1名		
	がん性疼痛	1	1	1		集中ケア	2	2	2	感染管理	1名	1名	1名		
	感染管理	1	2	2		緩和ケア	1	1	1	脳卒中リハビリテーション		1名	1名		
	救急看護	1	1	1		がん化学療法看護	1	1	1	合計	2名	3名	3名		
	小児救急	1	1	1		がん性疼痛看護	1	1	1						
	摂食・嚥下障害	1	1	1		感染管理	2	2	2						
	皮膚・排泄ケア	3	3	3		新生児集中ケア	1	1	1						
	新生児集中ケア	-	1	1		摂食・嚥下障害看護	1	1	1						
計		9	11	12		救急看護	-	1	1						
専門	小児看護	-	1	2		計	11	12	12						
	がん看護	-	1	1		専門	がん看護	1	2	2					
計		0	2	3		合計		12	14	14					
合計		9	13	15											
【認定・専門看護師の研修会参加人数】															
	区分\年度	H22 人数	H23 人数	H24 人数											
	認定	1	1	2											
	専門	1	1	1											
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果		
				III	III						III	III			

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																								
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																							
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																																																																																						
<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>項目番号 05</p> <p>診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</p> <p>特に、各部門では診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <p>主な参加講習会等</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本放射線技術学会 放射線治療品質管理士講習会 日本放射線治療セミナー 日本核医学技術学会 実習施設指導者等講習会 <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床衛生検査技師会 日本超音波学会 心臓リハビリテーション学会 日本臨床微生物学会 認定心電図検査技師講習会 日本輸血・細胞治療学会 日本心エコー学会 <p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本TDM学会学術大会 日本病院薬剤師会実務研修会 日本薬品情報学会総会 日本薬学東海支部合同学術会議 医療薬学フォーラム がん専門薬剤師集中教育講座 <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 日本高次脳障害学会夏期教育研修 岐阜呼吸管理研究会 摂食・嚥下障害セミナー <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本静脈経腸栄養学会 日本病態栄養学会年次学術集会 全国自治体病院協議会栄養部会研修会 <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線治療管理士講習会 S r 8 9 治療の安全取扱講習会 診療放射線技師実習施設指導者講習会 PET 研修セミナー 放射線治療セミナー その他各種学会、研修会等への参加 <p>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</p> <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 日本糖尿病療養指導士 感染制御認定臨床微生物検査技師 その他各種学会、研修会等への参加 <p>【薬剤師】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん専門薬剤師 感染制御専門薬剤師 糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 その他各種学会、研修会等への参加 <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓リハビリテーション指導士 摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 3学会合同呼吸療法認定士 日本糖尿病療養指導士 「がんのリハビリテーション研修ワークショップ」課程 その他各種学会、研修会等への参加 	IV	<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>項目番号 05</p> <p>最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。</p> <p>【薬剤部】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種認定薬剤師 専任薬剤師 指導薬剤師 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種学会、研修会等への参加 <p>【中央放射線部】</p> <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線診療従事者の新人研修 放射線医薬品取り扱いガイドライン講習 PET 研修セミナー 放射線治療品質管理士講習 放射線取扱主任者定期講習 マンモグラフィ認定研修会講習 放射線管理士、機器管理士、医用画像管理士、臨床実習指導者講習 日本医療情報学会 <p>【臨床検査科】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 感染制御認定臨床微生物検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 各種二級臨床検査士 <p>【リハビリテーション科】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓リハビリテーション指導士 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会及び認定試験受験 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> がんのリハビリテーション研修 感覚統合療法入門講習 高次脳機能障害支援事業こともなり、必要な知識、診療に関する研修会 内部障害関連 (呼吸、循環器、代謝) 研修会 <p>【栄養管理部】</p>	III	<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>項目番号 05</p> <p>薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。</p> <p>最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。</p> <p>【薬剤部】</p> <table border="1"> <tr><td>医療薬学会指導薬剤師</td><td>更新資格取得1名</td></tr> <tr><td>がん薬物療法認定薬剤師</td><td>更新資格取得2名</td></tr> <tr><td>漢方薬・生薬認定薬剤師</td><td>更新資格取得1名</td></tr> <tr><td>緩和薬物療法認定薬剤師</td><td>受験資格取得1名</td></tr> <tr><td>小児薬物療法認定薬剤師</td><td>受験資格取得1名</td></tr> <tr><td>日本病院薬剤師会生薬形認定</td><td>各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得</td></tr> </table> <p>【中央放射線部】</p> <table border="1"> <tr><td>救急搬送管理士</td><td>資格取得 1名</td></tr> <tr><td>医用画像管理士</td><td>資格更新 1名</td></tr> <tr><td>医療形像能専任主任者新人研修</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>第3回放射線医薬品取扱研修</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>日本核医学PET研修セミナー</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>放射線治療品質管理士研修</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>放射線取扱主任者定期講習</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>医療情報学会</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>災害被曝対応指定講習会</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>第28回乳腺甲状腺超音波診断会議</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>実習施設指導者養成講習会</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>新人を対象とした院内OJT研修</td><td>2名参加</td></tr> <tr><td>その他</td><td>各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援</td></tr> </table> <p>【臨床検査科】</p> <table border="1"> <tr><td>細胞検査士</td><td>資格取得 1名</td></tr> <tr><td>学会参加</td><td>6学会 20人</td></tr> <tr><td>研修会参加</td><td>7研修会 9人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部医学検査学会(第51回)学会事務局設置(学会長、事務局長、副事務局長、実行委員2名、学会スタッフ22名 計27名)学会開催に協力。</td></tr> </table> <p>【臨床工学部】</p> <table border="1"> <tr><td>透析安全管理責任者</td><td>資格取得 2名</td></tr> </table> <p>【リハビリテーション科】</p> <table border="1"> <tr><td>心臓リハビリテーション指導士</td><td>受験資格取得 PT2名</td></tr> <tr><td>3学会合同呼吸療法認定士</td><td>認定講習会の受験資格取得 PT1名</td></tr> <tr><td>がんのリハビリテーション研修ワークショップ</td><td>OT1名、PT3名参加</td></tr> <tr><td>感覚統合療法入門講習</td><td>OT1名参加</td></tr> </table>	医療薬学会指導薬剤師	更新資格取得1名	がん薬物療法認定薬剤師	更新資格取得2名	漢方薬・生薬認定薬剤師	更新資格取得1名	緩和薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名	小児薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名	日本病院薬剤師会生薬形認定	各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得	救急搬送管理士	資格取得 1名	医用画像管理士	資格更新 1名	医療形像能専任主任者新人研修	1名参加	第3回放射線医薬品取扱研修	1名参加	日本核医学PET研修セミナー	1名参加	放射線治療品質管理士研修	1名参加	放射線取扱主任者定期講習	1名参加	医療情報学会	1名参加	災害被曝対応指定講習会	1名参加	第28回乳腺甲状腺超音波診断会議	1名参加	実習施設指導者養成講習会	1名参加	新人を対象とした院内OJT研修	2名参加	その他	各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援	細胞検査士	資格取得 1名	学会参加	6学会 20人	研修会参加	7研修会 9人	その他	平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部医学検査学会(第51回)学会事務局設置(学会長、事務局長、副事務局長、実行委員2名、学会スタッフ22名 計27名)学会開催に協力。	透析安全管理責任者	資格取得 2名	心臓リハビリテーション指導士	受験資格取得 PT2名	3学会合同呼吸療法認定士	認定講習会の受験資格取得 PT1名	がんのリハビリテーション研修ワークショップ	OT1名、PT3名参加	感覚統合療法入門講習	OT1名参加	III	<p>コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。</p> <p>◆コメディカルの研修会・学会参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>薬剤師</td><td>2名</td><td>4名</td><td>5名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>10名</td><td>21名</td><td>18名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>8名</td><td>5名</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td></td><td>15名</td><td>7名</td></tr> <tr><td>リハビリ技師</td><td>10名</td><td>9名</td><td>19名</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>1名</td><td>3名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>31名</td><td>57名</td><td>53名</td></tr> </tbody> </table> <p>主な講習会(24年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講習会名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(臨床検査部)</td><td></td></tr> <tr><td>日臨技中部圏支部医学検査学会</td><td>6名</td></tr> <tr><td>(薬剤部)</td><td></td></tr> <tr><td>新任・中堅薬剤師研修会</td><td>2名</td></tr> <tr><td>(中央リハビリテーション部)</td><td></td></tr> <tr><td>岐阜県作業療法学会</td><td>3名</td></tr> <tr><td>岐阜県人工呼吸基礎セミナー</td><td>4名</td></tr> </tbody> </table>	職種	H22	H23	H24	薬剤師	2名	4名	5名	検査技師	10名	21名	18名	臨床工学技士	8名	5名	3名	放射線技師		15名	7名	リハビリ技師	10名	9名	19名	管理栄養士	1名	3名	1名	計	31名	57名	53名	講習会名	参加人数	(臨床検査部)		日臨技中部圏支部医学検査学会	6名	(薬剤部)		新任・中堅薬剤師研修会	2名	(中央リハビリテーション部)		岐阜県作業療法学会	3名	岐阜県人工呼吸基礎セミナー	4名
医療薬学会指導薬剤師	更新資格取得1名																																																																																																													
がん薬物療法認定薬剤師	更新資格取得2名																																																																																																													
漢方薬・生薬認定薬剤師	更新資格取得1名																																																																																																													
緩和薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名																																																																																																													
小児薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名																																																																																																													
日本病院薬剤師会生薬形認定	各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得																																																																																																													
救急搬送管理士	資格取得 1名																																																																																																													
医用画像管理士	資格更新 1名																																																																																																													
医療形像能専任主任者新人研修	1名参加																																																																																																													
第3回放射線医薬品取扱研修	1名参加																																																																																																													
日本核医学PET研修セミナー	1名参加																																																																																																													
放射線治療品質管理士研修	1名参加																																																																																																													
放射線取扱主任者定期講習	1名参加																																																																																																													
医療情報学会	1名参加																																																																																																													
災害被曝対応指定講習会	1名参加																																																																																																													
第28回乳腺甲状腺超音波診断会議	1名参加																																																																																																													
実習施設指導者養成講習会	1名参加																																																																																																													
新人を対象とした院内OJT研修	2名参加																																																																																																													
その他	各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援																																																																																																													
細胞検査士	資格取得 1名																																																																																																													
学会参加	6学会 20人																																																																																																													
研修会参加	7研修会 9人																																																																																																													
その他	平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部医学検査学会(第51回)学会事務局設置(学会長、事務局長、副事務局長、実行委員2名、学会スタッフ22名 計27名)学会開催に協力。																																																																																																													
透析安全管理責任者	資格取得 2名																																																																																																													
心臓リハビリテーション指導士	受験資格取得 PT2名																																																																																																													
3学会合同呼吸療法認定士	認定講習会の受験資格取得 PT1名																																																																																																													
がんのリハビリテーション研修ワークショップ	OT1名、PT3名参加																																																																																																													
感覚統合療法入門講習	OT1名参加																																																																																																													
職種	H22	H23	H24																																																																																																											
薬剤師	2名	4名	5名																																																																																																											
検査技師	10名	21名	18名																																																																																																											
臨床工学技士	8名	5名	3名																																																																																																											
放射線技師		15名	7名																																																																																																											
リハビリ技師	10名	9名	19名																																																																																																											
管理栄養士	1名	3名	1名																																																																																																											
計	31名	57名	53名																																																																																																											
講習会名	参加人数																																																																																																													
(臨床検査部)																																																																																																														
日臨技中部圏支部医学検査学会	6名																																																																																																													
(薬剤部)																																																																																																														
新任・中堅薬剤師研修会	2名																																																																																																													
(中央リハビリテーション部)																																																																																																														
岐阜県作業療法学会	3名																																																																																																													
岐阜県人工呼吸基礎セミナー	4名																																																																																																													

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																																					
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																			
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																			
【管理栄養士】 ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・病態栄養専門師 ・その他各種学会、研修会等への参加				<支援認定資格> ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士		岐阜県高次脳機能障害協力医療ネットワーク会議 研修会 OT1名, ST1名参加 日本心血管インターベンション治療学会第28回東海北陸地方会 PT3名参加 (うち1名発表) 第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 PT1名参加 日本癒研究会、研修会 PT1名参加 (計3回) 東海心リハ研究会 PT1名参加 【栄養管理部】 糖尿病療養指導士 資格取得 1名 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 資格取得 1名																																																																							
		コメディカル専門研修の参加人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>78人</td> <td>106人</td> <td>172人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>24人</td> <td>80人</td> <td>138人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>16人</td> <td>7人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>74人</td> <td>112人</td> <td>125人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>6人</td> <td>15人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>26人</td> <td>23人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>224人</td> <td>343人</td> <td>544人</td> </tr> </tbody> </table>			H22	H23	H24	薬剤師	78人	106人	172人	臨床検査技師	24人	80人	138人	臨床工学技士	16人	7人	45人	リハビリ技師	74人	112人	125人	管理栄養士	6人	15人	13人	放射線技師	26人	23人	51人	合計	224人	343人	544人			【コメディカル専門研修の参加人数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>16人</td> <td>25人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>25人</td> <td>37人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>22人</td> <td>27人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>2人</td> <td>8人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>36人</td> <td>21人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>10人</td> <td>7人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>111人</td> <td>125人</td> <td>167人</td> </tr> </tbody> </table>		区分\年度	H22	H23	H24	薬剤師	16人	25人	24人	検査技師	25人	37人	64人	放射線技師	22人	27人	30人	臨床工学技士	2人	8人	14人	リハビリ技師	36人	21人	30人	管理栄養士	10人	7人	5人	合計	111人	125人	167人						
	H22	H23	H24																																																																										
薬剤師	78人	106人	172人																																																																										
臨床検査技師	24人	80人	138人																																																																										
臨床工学技士	16人	7人	45人																																																																										
リハビリ技師	74人	112人	125人																																																																										
管理栄養士	6人	15人	13人																																																																										
放射線技師	26人	23人	51人																																																																										
合計	224人	343人	544人																																																																										
区分\年度	H22	H23	H24																																																																										
薬剤師	16人	25人	24人																																																																										
検査技師	25人	37人	64人																																																																										
放射線技師	22人	27人	30人																																																																										
臨床工学技士	2人	8人	14人																																																																										
リハビリ技師	36人	21人	30人																																																																										
管理栄養士	10人	7人	5人																																																																										
合計	111人	125人	167人																																																																										
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																																																															
		III	IV				III	III				III	III																																																																

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																																																													
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																											
		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																																											
<p>(6) EBMの推進 項目番号06 各診療科において各種診療ガイドラインに準じた診療を推進する。現在使用されているクリニカルパスを評価し改善するとともに、全国他施設のデータをベンチマークとして比較して、DPCに対応したより質の高い効率的なクリニカルパスに改訂していく。クリニカルパスに関する研修会を開催し、新規クリニカルパスの登録を推進し、より多くの疾患についてEBMに準じた標準治療が実践されるように働きかけていく。クリニカルパスにおいて、患者の満足度を把握できる方法を検討する。</p>		<p>・クリニカルパスの見直し・改定を実施した。 平成25年2月に地域医療機関からの参加を得て、クリニカルパス大会を開催し、その後クリニカルパスを整理し、DPCに対応したクリニカルパスを検証・整理した。</p> <p>・診療科別クリニカルパス数</p> <table border="1"> <tr><th>診療科</th><th>クリニカルパス数</th></tr> <tr><td>外科</td><td>35</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>47</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>34</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>32</td></tr> <tr><td>眼科</td><td>32</td></tr> <tr><td>その他</td><td>125</td></tr> </table> <p>クリニカルパス種類数・適用数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>種類数</td><td>304件</td><td>303件</td><td>305件</td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>13,899人</td><td>13,798人</td><td>14,690人</td></tr> <tr><td>適用数</td><td>8,337件</td><td>8,363件</td><td>8,929件</td></tr> <tr><td>適用率</td><td>60.0%</td><td>60.6%</td><td>60.8%</td></tr> </table>		診療科	クリニカルパス数	外科	35	小児科	47	産婦人科	34	整形外科	32	眼科	32	その他	125		H22	H23	H24	種類数	304件	303件	305件	入院患者数	13,899人	13,798人	14,690人	適用数	8,337件	8,363件	8,929件	適用率	60.0%	60.6%	60.8%	<p>III</p> <p>(6) EBMの推進 項目番号06 各診療科において整備された診療ガイドラインに基づいた診療の確立を図る。</p> <p>クリニカルパスの改訂等によりさらなる診療の質の充実を図る。</p>		<p>(6) EBMの推進</p> <p>・各診療科において診療ガイドラインの充実を進めたことに伴い、ガイドラインに基づいた診療が浸透してきた。</p> <p>・診療の実情や使用頻度により整理し、クリニカルパスを検証・整理した。 クリニカルパスの実数 154</p> <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】</p> <table border="1"> <tr><th>診療科名</th><th>パス数</th></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>22</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>31</td></tr> <tr><td>呼吸器科</td><td>18</td></tr> <tr><td>外科・消化器外科</td><td>30</td></tr> <tr><td>その他</td><td>53</td></tr> </table> <p>クリニカルパス種類数・使用数</p> <table border="1"> <tr><th>区分\年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>種類数</td><td>143種</td><td>145種</td><td>154種</td></tr> <tr><td>使用数</td><td>5,597件</td><td>5,702件</td><td>5,941件</td></tr> </table> <p>・クリニカルインディケーターについては、院内に専門の委員会を組織し、ホームページ上で公表する指標を選定した。選定した指標について各診療科の実績データを取りまとめ、平成25年度に公表できるよう準備を行った。</p>		診療科名	パス数	産婦人科	22	整形外科	31	呼吸器科	18	外科・消化器外科	30	その他	53	区分\年度	H22	H23	H24	種類数	143種	145種	154種	使用数	5,597件	5,702件	5,941件	<p>III</p> <p>(6) EBMの推進 項目番号06 学会の診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパス（入院患者に対する治療の計画を示した日程表）の積極的な活用に取り組むことにより、医療の質の改善、向上及び標準化を図り、科学的根拠に基づいた医療（EBM：Evidence Based Medicine）を提供する。 また、電子カルテを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、医療水準の向上及び診療内容の標準化を進める。</p> <p>高齢の入院患者・認知症の入院患者が多いなど、クリニカルパスの作成・適用が難しい分野もあるが、パスの活用に取り組んだ。 ◆整形外科領域 現在は適用されていないが、今後の活用に向けての取組を行っていく。 ◆産婦人科領域 パス見直し数：10件 産婦人科医の交代(H24年1月)を契機に、パス内容の確認、変更を随時行い改善している。 ◆新生児領域 パス作成数：外来1件、入院4件 また、電子カルテ運用においては、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用を努めた。</p> <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】</p> <table border="1"> <tr><th>診療科名</th><th>パス数</th></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>20</td></tr> <tr><td>内科</td><td>2</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>9</td></tr> </table> <p>クリニカルパス種類数・使用数</p> <table border="1"> <tr><th>【産婦人科】</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>種類数</td><td>20</td><td>20</td></tr> <tr><td>使用数</td><td>174</td><td>168</td></tr> <tr><td>適用率</td><td>95.6</td><td>99.4</td></tr> <tr><th>【内科】</th><td></td><td></td></tr> <tr><td>種類数</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>使用数</td><td></td><td>105</td></tr> <tr><td>適用率</td><td></td><td>100</td></tr> </table>		診療科名	パス数	産婦人科	20	内科	2	整形外科	9	【産婦人科】	H23	H24	種類数	20	20	使用数	174	168	適用率	95.6	99.4	【内科】			種類数	0	2	使用数		105	適用率		100	<p>II</p>	
				診療科	クリニカルパス数																																																																																																
外科	35																																																																																																				
小児科	47																																																																																																				
産婦人科	34																																																																																																				
整形外科	32																																																																																																				
眼科	32																																																																																																				
その他	125																																																																																																				
	H22	H23	H24																																																																																																		
種類数	304件	303件	305件																																																																																																		
入院患者数	13,899人	13,798人	14,690人																																																																																																		
適用数	8,337件	8,363件	8,929件																																																																																																		
適用率	60.0%	60.6%	60.8%																																																																																																		
診療科名	パス数																																																																																																				
産婦人科	22																																																																																																				
整形外科	31																																																																																																				
呼吸器科	18																																																																																																				
外科・消化器外科	30																																																																																																				
その他	53																																																																																																				
区分\年度	H22	H23	H24																																																																																																		
種類数	143種	145種	154種																																																																																																		
使用数	5,597件	5,702件	5,941件																																																																																																		
診療科名	パス数																																																																																																				
産婦人科	20																																																																																																				
内科	2																																																																																																				
整形外科	9																																																																																																				
【産婦人科】	H23	H24																																																																																																			
種類数	20	20																																																																																																			
使用数	174	168																																																																																																			
適用率	95.6	99.4																																																																																																			
【内科】																																																																																																					
種類数	0	2																																																																																																			
使用数		105																																																																																																			
適用率		100																																																																																																			
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証結果		H23 検証結果		検証結果		◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証結果		H23 検証結果		検証結果																																																																																							
		III		III				III		III				III		II																																																																																					

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																										
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																									
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																																								
<p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号07 安全な医療が提供できるよう医療安全管理マニュアルの遵守、徹底を図る。各部署で発生するインシデント・アクシデント報告について、根本原因分析（RCA分析）し、安全対策上の課題について支援する。アクシデント発生時には、速やかに事故調査を実施し発生要因を明らかにするとともに、医療事故の再発防止とリスクを回避するための方策を検討し共有化する。安全管理に関する研修会を充実させ、さらなる安全意識の向上を図る。</p>	<p>III</p> <p>・必要に応じてマニュアルの見直しや作成を行った。また、マニュアル運用状況について調査や毎月、院内巡視を行い、遵守状況を把握し、徹底できるように努めた。 ・重大事例につながるようなインシデント報告などは、関連部署と分析を行い再発防止策について検討を行った。 ・インシデント・アクシデント報告の収集、分析を行った。医療安全部や医療安全管理委員会で検討し、それを看護師長会や管理会議で報告を行った。また、医療安全便りで全職員に発信し情報共有した。</p> <p>各年度におけるインシデント（レベル3 a まで）報告、アクシデント（レベル3 b～）報告件数 平成23年度よりレベル3はa, bに分割して記載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>327件</td> <td>286件</td> <td>336件</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>1,003件</td> <td>1,013件</td> <td>1,182件</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>713件</td> <td>849件</td> <td>800件</td> </tr> <tr> <td>レベル3 a</td> <td rowspan="2">152件</td> <td>178件</td> <td>215件</td> </tr> <tr> <td>レベル3 b</td> <td>54件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>—</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>インシデント・アクシデント報告件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>2,043件</td> <td>2,326件</td> <td>2,533件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>153件</td> <td>58件</td> <td>57件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療安全意識醸成のため、職員を対象とした医療安全研修会を17回実施した。延べ参加者数は1,672名であった。</p>		H22	H23	H24	レベル0	327件	286件	336件	レベル1	1,003件	1,013件	1,182件	レベル2	713件	849件	800件	レベル3 a	152件	178件	215件	レベル3 b	54件	55件	レベル4	1件	2件	1件	レベル5	—	2件	1件		H22	H23	H24	インシデント	2,043件	2,326件	2,533件	アクシデント	153件	58件	57件	<p>III</p> <p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号07 医療の質および安全の確保のため、インシデント及びアクシデント案件があった場合は、各部署にてRCA（根本原因分析）実施を徹底する。</p>	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <p>・インシデントレポートについては、職員の理解が深まり、平成23年度に月平均220件であった報告件数が、平成24年度には月平均265件まで増加した。またインシデントの内容によってRCAを実施した。</p>	<p>III</p> <p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号07 ○チーム医療の推進 あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、内科系医師・外科系医師・看護師などの構成員によるチーム医療をより一層推進する。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化 院内の医療安全対策室において、医療総合情報システムを活用し、インシデント及びアクシデントに関する情報の収集及び分析に努め、リスクを回避する方策の立案や、対策実施後の評価等を定期的に討議し、医療事故の再発防止及び予防の徹底を図る。 また、分析結果及び改善方策について、医療総合情報システムにより情報の共有化を図る。</p>	<p>III</p> <p>○チーム医療の推進 医療安全管理委員会：12回開催 医療安全対策室会議：12回開催 医療安全対策室小会議：42回開催 医療安全推進担当者会議：5回開催 看護事故防止委員会：12回開催 褥瘡対策委員会：11回開催 看護部スキンケア委員会：12回開催 その他、インシデント・アクシデント発生時の対応など医療安全対策室専従看護師が中心となり、各部門との情報収集・意見交換、連絡・調整・相談などを日々実施した。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化 ◆リスクマネジメントシステム SafeProducer を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめとインシデントレベル2及び3（事故報告書）について各会議にて分析・検討し対策立案を行った。 ・医療安全管理委員会で報告・検討した事例 インシデントレベル3：6件 苦情に対する関与その他：5件 対策を検討し承認した事項：14件 インシデント・アクシデント以外の検討事項：11件 医療安全管理マニュアルの見直し整備：4件 決定事項の遵守状況については、医療安全対策室専従看護師（医療安全管理者）が各部門をラウンド・電子カルテの確認を行い報告した。 インシデント報告事例で情報共有が必要なものに関して分析をおこなった。 SHELL分析：6件 RCA分析：5件 (7月にRCA分析の学習会開催) ・「医療安全対策室便り」の発行 決定事項について周知徹底するため、「医療安全対策室便り」を24回発行。</p> <p>インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>896件</td> <td>929件</td> <td>729件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>7件</td> <td>10件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>903件</td> <td>939件</td> <td>732件</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各メディアの活用：日本医療機能評価機構・PMDA・週間医学会新聞・NKSJ・看護協会等から、医療安全情報を収集し、サイボウズ（院内グループウェア）を利用し職員に周知した。 医療安全対策室便りの発行数：20回 各メディアからの医療安全情報：18回 その他必要時、サイボウズの掲示板にコメントを掲載した。</p>		22年度	23年度	24年度	インシデント	896件	929件	729件	アクシデント	7件	10件	3件	合計	903件	939件	732件
	H22	H23	H24																																																													
レベル0	327件	286件	336件																																																													
レベル1	1,003件	1,013件	1,182件																																																													
レベル2	713件	849件	800件																																																													
レベル3 a	152件	178件	215件																																																													
レベル3 b		54件	55件																																																													
レベル4	1件	2件	1件																																																													
レベル5	—	2件	1件																																																													
	H22	H23	H24																																																													
インシデント	2,043件	2,326件	2,533件																																																													
アクシデント	153件	58件	57件																																																													
	22年度	23年度	24年度																																																													
インシデント	896件	929件	729件																																																													
アクシデント	7件	10件	3件																																																													
合計	903件	939件	732件																																																													

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院											
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価										
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価									
			<p>専従の医療安全管理者、リスクマネージャーの活動を支援し、医療安全に関する活動を充実する。</p> <p>院内研修会（外部講師や職員によるシンポジウム等）を積極的に開催するとともに欠席者に対しては別途ビデオ上映を行うなどフォローアップを充実する。</p>	<p>・医療安全管理者、リスクマネージャーは臨機応変に活動を展開した。</p> <p>・4月から患者サポート体制カンファレンスを毎週火曜日に開催し、対応方法や事後のケアについて検討を行った。</p> <p>・11/25から12/1の医療安全推進週間には、「患者誤認防止、薬剤確認方法の啓蒙週間」として全職員に対し啓蒙活動を行った。患者誤認防止対策として入院中の患者225人、病院職員568人にアンケート調査を実施した。</p> <p>・薬剤確認方法に関しては、注射、内服に関する安全対策マニュアル改訂に合わせて改訂マニュアルの普及活動を行った。</p> <p>・院内研修会については、全職員参加を目標に実施した。出席者は延べ794名で、欠席者には研修内容を録画したDVDビデオを視聴させた。</p> <p>【医療安全研修会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月13日</td> <td>全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～</td> <td>419人</td> </tr> <tr> <td>2月14日</td> <td>がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる中での問題点～</td> <td>375人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	テーマ	参加人数	9月13日	全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～	419人	2月14日	がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる中での問題点～	375人	<p>○安全管理に関する研修体制の充実</p> <p>全職員が患者の安全を最優先にして万全な対応を行うことができるように、情報の収集・分析による医療安全対策の徹底及び医療安全文化の醸成など安全管理に関する研修体制を整備する。</p> <p>平成24年度も院内全職員を対象にした医療安全推進大会を実施する。</p>	<p>○医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <p>医療安全全職員研修会： 2回(365名) 定期的研修会： 10回(438名) イベント・アクシデントより 臨時研修会： 3回(67名) 新人・看護補助者対象研修会 6回(43名) BLS研修会： 4回(45名) 医療ガス安全講習会 2回(43名)</p>		
開催日	テーマ	参加人数															
9月13日	全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～	419人															
2月14日	がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる中での問題点～	375人															
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	I23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	I23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	I23 検証 結果	検証 結果						
	III	III			III	IV			III	III							

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価	H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価	H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価										
		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項														
<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>平成23年10月より設置された感染制御チーム(ICT)が中心となり院内感染防止マニュアルを基に各部署等における感染予防対策や感染防止対策の遵守状況を定期的に観察・指導(院内巡視)を実施していく。</p> <p>また、感染防止委員会や感染症対策部を中心に研修会(年2回以上)を開催し、院内感染防止マニュアルの周知徹底・啓発を図ること及び必要に応じて改定(ローリング)を行う。</p>		<p>・ICT(Infection control team)マニュアルに基づき、毎月1~4回各部署の巡視を行った。また、巡視結果は各部署へ報告し改善指導を行った。</p> <p>・感染防止委員会を毎月第3木曜日に開催し、感染症情報、抗菌薬使用状況、標準予防策の遵守状況について報告を行うとともにインフルエンザ対策、結核接触者健診など適時な議題についても報告を行った。</p> <p>・感染防止対策推進責任者と看護感染防止委員会担当者、ICTが一堂に会し、感染防止対策推進者会議(情報を共有し課題を検討する会)を3回開催した。</p> <p>・感染防止にかかる取組として、他医療機関との間で合同カンファレンスを4回開催し、また、相互に実態の評価を行った。</p> <p>・感染防止研修会の開催</p> <p>全職員を対象とした研修を年4回開催したほか、ICTによる出張学習会、学習会を実施し延べ1,782名が参加した。</p>		III	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>ICT(Infection Control Teamの略、感染防止対策チーム)と各部署より選抜されたリンクナースが協働し、継続性のある感染対策を実践し医療関連感染の低減につなげる。</p> <p>月1回のICT会議、週1回のICTによる抗菌薬適正使用カンファレンスを継続、ラウンド[®]や教育を強化し、全職員の感染対策に関する知識・技術の向上を図る。</p> <p>感染対策マニュアルの活用とともに内容を評価し、より効果的なものに改訂する。</p> <p>アウトブレイクや流行性疾患患者・職員を確認した場合、早期に終息へつなげる体制を継続・強化する。</p> <p>院内感染について近隣病院との連携を強化し、地域全体の感染制御の質の向上に努める。</p>		III	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>・インフルエンザの院内感染が発生した際に、ICT(Infection Control Teamの略、感染防止対策チーム)が介入し、早期にアウトブレイクと判断した。飛沫感染や接触感染の防止、患者隔離、新規の入院制限など必要な対策を実践したことにより感染拡大には至らずに終息させることができた。</p> <p>・週1回の定期開催による抗菌薬適正使用カンファレンスを行い、主治医への介入や勉強会開催、アンチバイオグラムの作成や配布などの活動を継続したことにより、前年度に比べ使用制限抗菌薬及び抗菌薬全体の使用量の低下と維持につながった。</p> <p>・全職員を対象とした感染対策教育講演会2回と委託業者も含めた職種別、レベル別の勉強会・研修会等を開催した。</p> <p>【感染対策教育講演会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月22日・25日</td> <td>結核</td> <td>468人</td> </tr> <tr> <td>12月3日</td> <td>全職員で取り組む感染対策 ～あなたの参加が大切なんです～</td> <td>472人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・感染対策マニュアルの改訂と追加を行った。</p> <p>・インフルエンザやノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の流行期などには全職員へ向け院内メールを発信し注意喚起を行い、定期・臨時でICT通信を発行しリアルタイムな感染管理に関する情報提供と感染対策実施に向けた啓発を行った。</p> <p>・近隣4医療施設・東濃保健所との感染防止対策合同カンファレンスを3回開催した。岐阜地区で開催される合同カンファレンスへも2回参加した。また2医療施設間における感染対策相互チェックラウンドを実施した。</p>		開催日	テーマ	参加数	6月22日・25日	結核	468人	12月3日	全職員で取り組む感染対策 ～あなたの参加が大切なんです～	472人	III	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>院内に複数の医療職から構成する院内感染対策室を設置し、職員に対する院内防止対策(マニュアル)の周知徹底・啓発を行うとともに、定期的に感染対策委員会を開催し、感染の状況や感染対策活動の評価等を行う。</p> <p>また、重大な院内感染が発生した場合には、医療事故と同様に、原因の分析・再発防止策の立案と県民に対する適正な情報提供に努める。</p> <p>平成24年度も引き続き、抗生剤の適正使用について及び全職種間での手指衛生の徹底について、重点的に取り組む。</p>		<p>○感染防止技術の推進</p> <p>・院内感染防止マニュアルの改訂</p> <p>標準予防策と感染経路別予防策マニュアルほか7件を改訂した。</p> <p>○感染管理教育</p> <p>・新入転入看護師研修(年4回、対象13名)</p> <p>・看護補助職員研修(年2回、対象31名)</p> <p>・全体研修(10/26:62名、3/7-8:197名)</p> <p>・部署研修(随時)</p> <p>・NEWSレターになどによる情報発信</p> <p>「感染対策室NEWS」5回発行、インフルエンザ情報を院内グループウェアで配信した。</p> <p>○職業感染対策</p> <p>職員ワクチン接種プログラムに基づきワクチン接種を実施した。</p> <p>・HBワクチン接種</p> <p>・小児科ウイルス(水痘・麻疹・ムンプス・風疹)ワクチン接種</p> <p>・インフルエンザワクチン接種</p> <p>○院内ラウンド(巡視)</p> <p>定期的ラウンドのほか、感染経路別予防策のためのチェックラウンドを実施した。</p> <p>外部からの監査として、感染防止対策地域連携加算相互チェックを受けた。</p> <p>○環境清掃の強化</p> <p>胃腸炎流行期に環境清掃の強化として清掃業者によるトイレ周辺環境と手すり、ドアノブの次亜塩素酸ナトリウム消毒を実施。</p> <p>○感染状況、対策活動評価を行う「感染対策委員会」を定期(月1回)開催、感染防止対策の体制整備を図った。</p>		III
開催日	テーマ	参加数																						
6月22日・25日	結核	468人																						
12月3日	全職員で取り組む感染対策 ～あなたの参加が大切なんです～	472人																						
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		I22 検証 結果	I23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		I22 検証 結果	I23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		I22 検証 結果	I23 検証 結果	検証 結果										
		III	III				IV	III				III	III											

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-1-2 患者・住民サービスの向上

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																					
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																																																																																			
<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 項目番号 09</p> <p>他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p>	<p>○外来待ち時間対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。 ①検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。 ②看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。 ③入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。 ④病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30分以内の診察を徹底した。 <p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17分</td> <td>26分</td> <td>22分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※患者満足度調査（アンケート）結果 ※指標を予約時間と実際に診療を開始した時間までを待ち時間とすることに変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。 ①待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけるよう便宜を図っている。 ②診療科に即したパンフレットや図書を配置 <p>・待ち時間調査の実施</p> <p>患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施（9/13）するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回行い、状況の把握に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23.8月</td> <td>40.1%</td> <td>54.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H24.1月</td> <td>51.9%</td> <td>42.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H25.1月</td> <td>49.4%</td> <td>45.9%</td> <td>4.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※24年度中における待ち時間の解消 30分以内、30分～2時間以内の待ち時間とも若干増加したもの、2時間を超える長時間の待ち時間は減少した：+0.7ポイントの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算支払い窓口（自動精算機）の増設 診療費の支払い待ち時間の短縮のため、診療費自動精算機を増設（1台→3台）し、支払窓口を合計3窓→5窓とした。（精算機含む。） <p>○臨床検査部門</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査（生理検査部門）技師の配置状況 H23：6.5名 → H24：6.5名 超音波検査予約枠の増設、変更 診療科からの要望に対して、機能的な予約枠の増設、 	H22	H23	H24	17分	26分	22分	待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H23.8月	40.1%	54.8%	5.3%	H24.1月	51.9%	42.8%	5.3%	H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%	IV	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 項目番号 09</p> <p>待ち時間調査を実施し、現状を把握する。 待ち時間の苦痛緩和に向けて対応策を引き続き検討する。</p> <p>正面玄関ロビーの改修にあわせ、窓口等を見直し、会計待ち時間の改善を図る。</p> <p>医療連携を充実させることにより、逆紹介を円滑に進め、外来患者数の縮減に努める。 取り組みの結果、各診療科において、診察予約時間から30分以内の診療を目指す。</p> <p>開業医の訪問活動を継続して実施し、紹介率の向上に努めるとともに、CT、MRIなどの検査依頼についても、検査枠の見直し等効率化を検討する。</p> <p>検査部門において、2交替制勤務を活用し検査の開始時間を早めることにより、混雑する時間帯への集中を緩和する。</p>	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月に放射線、内視鏡、生理検査、10～12月に診療科待ち時間調査を実施し、検証した。 <p>【平均待ち時間の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>24分</td> <td>23分</td> <td>23分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時間からの遅延時間平均</p> <ul style="list-style-type: none"> 正面玄関ロビーの改修にあわせ、窓口等を見直し、フレキシブルな対応が可能な体制を作った。 自動支払機の更新及び増設、会計表示の見直しにより、支払いに要する待ち時間を短縮し、患者のストレスを緩和することができた。 点在する外来駐車場を効率的に運用するため、駐車場利用者が集中する午前中には、駐車場管理の警備員を2名増員し、駐車場入庫待ちによる混雑解消を図った。 逆紹介を推し進めるため、各診療科の掲示板において、病診連携推進の「お知らせ」を掲示して、紹介状持参の促進と近隣のかかりつけ医との役割分担の違いについて患者への周知を行った。 開業医への訪問活動を通して得た情報に基づき、診療情報提供書の早期作成に努めた。 医療連携枠として新たに「骨密度検査枠」を追加した。 <p>【CT、MRI検査件数の比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>24,319件</td> <td>25,234件</td> <td>26,350件</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>7,640件</td> <td>7,919件</td> <td>8,646件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度より中央放射線部において2交代制を導入した。あわせて早出、遅出という勤務体制を導入し、混雑する時間帯への集中を緩和した。 	項目\年度	H22	H23	H24	平均待ち時間	24分	23分	23分	区分\年度	H22	H23	H24	CT件数	24,319件	25,234件	26,350件	MRI件数	7,640件	7,919件	8,646件	III	<p>(1) 待ち時間の改善等 項目番号 09</p> <p>待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。</p> <p>○待ち時間対策</p> <p>外来患者満足度調査の中で待ち時間に関する意見がみられるため、待ち時間対策として</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況の情報を提供 看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める） 小児科外来は図書コーナーを設置、また持ち帰り可能な雑誌等の設置に努めた。 <p>(参考) 外来待ち時間調査（直近はH23.6実施）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H23</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>46</td> <td>80</td> <td>46</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>30～60分</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>7</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>60～90分</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>90分以上</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H23</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>246</td> <td>82</td> <td>142</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>30～60分</td> <td>43</td> <td>14</td> <td>34</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>60～90分</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>25</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>90分以上</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	待ち時間	H21		H23		人数	%	人数	%	なし	46	80	46	85	30～60分	10	18	7	13	60～90分	1	2	1	2	90分以上	0	0	0	0	待ち時間	H21		H23		人数	%	人数	%	なし	246	82	142	69	30～60分	43	14	34	17	60～90分	8	3	25	12	90分以上	3	1	4	2	III
H22	H23	H24																																																																																																									
17分	26分	22分																																																																																																									
待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																																																																																																								
H23.8月	40.1%	54.8%	5.3%																																																																																																								
H24.1月	51.9%	42.8%	5.3%																																																																																																								
H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%																																																																																																								
項目\年度	H22	H23	H24																																																																																																								
平均待ち時間	24分	23分	23分																																																																																																								
区分\年度	H22	H23	H24																																																																																																								
CT件数	24,319件	25,234件	26,350件																																																																																																								
MRI件数	7,640件	7,919件	8,646件																																																																																																								
待ち時間	H21		H23																																																																																																								
	人数	%	人数	%																																																																																																							
なし	46	80	46	85																																																																																																							
30～60分	10	18	7	13																																																																																																							
60～90分	1	2	1	2																																																																																																							
90分以上	0	0	0	0																																																																																																							
待ち時間	H21		H23																																																																																																								
	人数	%	人数	%																																																																																																							
なし	246	82	142	69																																																																																																							
30～60分	43	14	34	17																																																																																																							
60～90分	8	3	25	12																																																																																																							
90分以上	3	1	4	2																																																																																																							

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																												
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																											
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																										
<p>平成23年度は総合麻酔センターを設置し、麻酔医4名から6名へ増員し麻酔科部が強化された。手術件数が平成22年度は5,407件、平成23年度は2月末で5,114件と同時期（平成23年2月末4,913件）と比較すると4.1%増加し、各科の手術待ち患者の解消に努めた。平成24年度は、手術部の問題点の抽出に努め、手術部の効率的な運用を考え実施することで、手術件数を増大させ（目標値5,800件）手術待ち時間の改善につなげる。</p>	<p>変更を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査件数の増加（外来分） H23：13,287件 → H24：14,737件（10.9%増） 超音波検査待ち時間の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22.4</td> <td>1,208件</td> <td>97.4%</td> <td>2.3%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>H23.4</td> <td>1,292件</td> <td>98.6%</td> <td>1.3%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>H24.4</td> <td>1,505件</td> <td>98.2%</td> <td>1.7%</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・採血室：採血開始時間を8時15分に繰り上げたことにより待ち時間は解消されつつある。</p> <p>○中央放射線部門</p> <ul style="list-style-type: none"> CT検査予約枠変更 CT検査を、2台の装置毎に検査内容で振り分ける予約枠に変更し、より有効的な運用による待ち日数の短縮を図った。 MR検査数増加への対応 予約検査待ち日数解消のため、時間外検査枠を増設し待ち日数の短縮を図る。また、MRI装置のアップグレードを行ったことによる検査数が大幅に増加し、待ち日数が短縮された。 <p>・検査件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MR 外来</th> <th>MR 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>22,636</td> <td>5,841</td> <td>7,994</td> <td>1,693</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>24,488</td> <td>6,256</td> <td>10,115</td> <td>2,168</td> </tr> </tbody> </table> <p>・検査待ち日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>10日</td> <td>7日</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>17日</td> <td>21日</td> <td>14日</td> </tr> </tbody> </table> <p>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用、手術機材のキット化（あらかじめセットしている状態）を促進したことによる準備期間の短縮及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術待ち時間を短縮できた。</p> <p>時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>55.2%</td> <td>56.9%</td> <td>62.9%</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>5,407件</td> <td>5,614件</td> <td>6,029件</td> </tr> </tbody> </table>			総数	60分未満	～90分	90分超	H22.4	1,208件	97.4%	2.3%	0.3%	H23.4	1,292件	98.6%	1.3%	0.1%	H24.4	1,505件	98.2%	1.7%	0.1%		CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院	H23	22,636	5,841	7,994	1,693	H24	24,488	6,256	10,115	2,168		H22	H23	H24	CT	10日	7日	4日	MRI	17日	21日	14日		H22	H23	H24	稼働率	55.2%	56.9%	62.9%	件数	5,407件	5,614件	6,029件					
		総数	60分未満	～90分	90分超																																																													
H22.4	1,208件	97.4%	2.3%	0.3%																																																														
H23.4	1,292件	98.6%	1.3%	0.1%																																																														
H24.4	1,505件	98.2%	1.7%	0.1%																																																														
	CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院																																																														
H23	22,636	5,841	7,994	1,693																																																														
H24	24,488	6,256	10,115	2,168																																																														
	H22	H23	H24																																																															
CT	10日	7日	4日																																																															
MRI	17日	21日	14日																																																															
	H22	H23	H24																																																															
稼働率	55.2%	56.9%	62.9%																																																															
件数	5,407件	5,614件	6,029件																																																															
◎特筆すべき点・進捗状況評価	に関する意見・その他コメント		◎特筆すべき点・進捗状況評価	に関する意見・その他コメント		◎特筆すべき点・進捗状況評価	に関する意見・その他コメント																																																											
	H22 検証 結果	H23 検証 結果		H22 検証 結果	H23 検証 結果		H22 検証 結果	H23 検証 結果																																																										
	IV	IV		III	III		III	III																																																										

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院													
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価												
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価											
<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号10 患者や来院者により快適な環境を提供するため、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。</p> <p>患者ニーズを踏まえ、院内売店の飲食物・アメニティーグッズ等の種類・量を充実させる。</p> <p>治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好に配慮した選択メニューを拡充するため、患者サービス満足度調査を実施し、病院給食の改善を図る。</p>	<p>・患者や来院者により快適な環境を提供するため、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室にテレビを設置（文字放送）するなど、快適な院内環境を整備した。</p> <p>・平成24年度嗜好調査を実施し、その結果を日々の給食管理に反映した。 調査内容：食欲、主・副食の状況（喫食状況、残さの理由、炊き方・味付け、味、種類等）、満足度、自由意見等 実施日：平成24年12月19日 対象者：一般食患者105人（回答60人） 特別食患者111人（回答63人）</p> <p>・治療効果を上げるため栄養管理の充実を図った。 平成24年4月より、入院時の病名のチェック体制を強化し、病態に合致した食種の食事を提供するように努めた。その結果、特別治療食の割合が、前年の33%から、40%に増加し、治療に貢献できた。</p>	III	<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号10 正面玄関ロビーを「明るく」「清潔・安心」で「あたたかい」空間にイメージチェンジするための改修工事を行う。</p> <p>病院案内図等の院内のサインを正確で見やすいものに改修し、来院者の利便性の向上を図る。</p> <p>清掃業務について、責任を明確にして機動性のある業務委託とすることによって、清潔な院内スペースを実現する。</p> <p>治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、引き続き献立・食材の見直しや食種の見直しを行う。</p> <p>栄養不良の疑われる患者に対し、NSTの積極的な介入で早期の改善を目指す。また、喫食量の低下した患者への個別の聞き取りを継続的に行い、よりきめ細かな食事が提供できるよう充実を図る。</p>	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <p>・正面玄関ロビーの改修工事は、木材を豊富に使用し、明るさとともに和みのある空間にイメージチェンジした。</p> <p>・正面玄関ロビーの改修工事に併せ、院内サインの色調を統一し、見やすく、分かりやすいものへと改修し、患者の利便性向上を図った。</p> <p>・専用部、共用部を2業者で行っていた清掃業務を一本化したことで、清掃に関する責任が明確化されたとともに病院との窓口の一本化により機動性が高まった。</p> <p>・国の栄養摂取基準にあわせ、妊産婦食と貧血食の見直しを行った。</p> <p>・喫食量の低下や栄養不良が疑われる患者に対して、病棟で管理栄養士による聞き取りを行い、よりきめ細かな提供を行い、喫食量増加に努めた。</p> <p>・NSTの介入による早期栄養状態の改善等栄養管理強化に努めた。</p> <p>【喫食量の低下した患者への個別聞き取り、NST介入件数の対前年度比】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別聞き取り</td> <td>40件/月</td> <td>73件/月</td> <td>96件/月</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>16件/月</td> <td>38件/月</td> <td>41件/月</td> </tr> </tbody> </table> <p>・急速に普及するスマートフォンなどの次世代通信端末に対応できるよう、屋内に専用のアンテナを設置し、院内通信網を整備した。</p>	項目\年度	H22	H23	H24	個別聞き取り	40件/月	73件/月	96件/月	NST介入	16件/月	38件/月	41件/月	III	<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号10 患者からの環境改善要求については、可能な限り改善に努めるとともに、患者のプライバシーとアメニティーの確保に配慮した快適な院内環境の整備を行う。</p> <p>また、治療効果を上げるため、栄養管理の向上及び患者の病態に応じた個別対応食の促進に努める。</p> <p>◆患者サービス向上委員会では、ご意見箱からの意見などを院内の掲示板でフィードバックしているほか、院内環境改善について平成24年度には、例えば外来トイレに荷物かけ金具の取り付け、ドアの修理などを実施した。</p> <p>◆玄関の清掃だけでなく、病院周辺の清掃も患者サービス向上委員会が主体となって病院及び河川敷周辺の清掃をおこなった。 (7/25 60名、11/8 53名)</p> <p>◆個別の栄養管理のために「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について患者訪問を実施。患者に食事内容をより理解していただくと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。</p> <p>(個別食対応) 栄養管理計画作成件数 1,820件 ※24年度から医師指示分のみを実施</p>	III
項目\年度	H22	H23	H24																
個別聞き取り	40件/月	73件/月	96件/月																
NST介入	16件/月	38件/月	41件/月																
特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	H23 検証 結果 III	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	H23 検証 結果 III	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	H23 検証 結果 III	検証 結果								

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																						
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																					
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																				
<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備 項目番号 11 情報の取り扱いに対する研修会、講演会を開催し、個人の診療情報やその他情報の取り扱いに対する教育を行う。これにより、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を向上させる。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する。</p>	<p>・院内に勤務する派遣職員に対する研修の中で、個人情報取り扱いに関する項目を設け、個人情報保護担当職員による説明を行った。 ・患者本人又は家族からの請求により、72件の個人情報を開示した。</p>	III	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備 項目番号 11 医療連携室と医療相談室について、執務室を統合し、連携の強化を図る。</p> <p>緩和ケアや精神科病棟への対応のためスタッフの充実を図り、転退院調整や各種相談業務への対応を強化する。</p> <p>がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行う。</p>	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <p>・医療連携室と医療相談室の執務室を統合したことで、情報の共有化が図れ、パス運用の初期での対応、転院・退院調整の役割分担とを連携センター全体として担うことが可能となり、フレキシブルな対応ができた。</p> <p>・平成24年4月から、緩和ケア認定看護師を地域医療連携センター師長として配置し、相談者に専門的なアドバイス、適切なケアを提供した。 ・緩和ケア外来から病棟入院に関し、相談員1名を専従とし、がん患者及び家族への相談支援を行った。 ・相談員1名がP SW (精神保健福祉士) の資格を取得し、精神疾患に関する地域と当院間の連携業務を担い、受診や入院の相談支援を行った。 ・平成24年4月から、相談員としてMSW (社会福祉士) を1名増員し、医療相談業務の拡充を図った。</p> <p>・がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行った。</p> <p>【相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>8,567件</td> <td>7,921件</td> <td>10,199件</td> </tr> <tr> <td>がんサロン相談件数</td> <td>一件</td> <td>131件</td> <td>168件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H22	H23	H24	医療相談件数	8,567件	7,921件	10,199件	がんサロン相談件数	一件	131件	168件	III	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備 項目番号 11 苦情等へ迅速な対応ができる組織体制を整備する。 また、接遇研修会を開催するなど職員の接遇意識向上にも努める。</p>	<p>◆医療情報に関する相談・苦情について、問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。 また、更に相談がしやすくなるように25年4月から看護師が半日常駐できるように準備した。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談</td> <td>912件</td> <td>1,716件</td> <td>1,603件</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆「接遇マナーチェック」を実施(看護部6月、全職員10月)した結果、チェック項目の弱い部分を選んで目標とし、意識の向上に努めた。 また、挨拶強化月間(6月、10月)を設定し、接遇委員会が中心となり、病院玄関において挨拶運動に取り組んだ。</p>		22年度	23年度	24年度	医療相談	912件	1,716件	1,603件	III
項目\年度	H22	H23	H24																									
医療相談件数	8,567件	7,921件	10,199件																									
がんサロン相談件数	一件	131件	168件																									
	22年度	23年度	24年度																									
医療相談	912件	1,716件	1,603件																									
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																	
	III	III			III	III			III	III																		

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																														
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																													
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																													
<p>(4) 患者の視点に立ったより良い医療の提供 項目番号12 Humanity（人間性を大切にしたい）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。</p>	<p>・本館1階ロビーに、患者の権利、個人情報保護に関する方針を掲示し、同内容を病院ホームページにも掲載した。 ・外部先進病院から講師を招へいし、医療安全に関する研修を実施した。 タイトル：「全職員で取り組む医療安全～情報の共有が患者の安全を高める～」 開催時期：平成24年5月 参加者数：205名</p> <p>タイトル：「医療者が使える基礎的法知識+患者家族対応力」 開催時期：平成25年2月 参加者数：192名</p>	IV		<p>(4) 患者中心の医療の提供 項目番号12 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。</p> <p>職員に対し患者中心の医療、患者の自己決定権について研修を実施する。</p>	<p>(4) 患者中心の医療の提供</p> <p>・当院の基本理念である「安全で、やさしく、あたたかみ医療に努めます」をコンセプトにしたシンボルマークを制定し、病院利用者及び職員に患者中心の医療の実践をアピールした。</p> <p>・平成23年度から医療安全研修会（講演会）の内容を録画し、研修に参加できなかった職員を対象に、後日、視聴させる仕組みを整えた。平成24年度も引き続き実施し、全職員が研修を受講できるように取り組んだ。</p> <p>・患者相談窓口を充実させ、毎週火曜日に患者からの要望や相談内容について検討することを目的とした患者サポート体制カンファレンスを開催している。平成24年度は52回開催し、45件について検討を行った。検討内容については、管理会議や医局会で報告して周知を図っている。</p> <p>・患者や家族に治療に対する理解を深めてもらうことを目的にNPO法人「医療の質に関する研究会」の患者図書室プロジェクトに応募し、必要な備品や図書の寄付を受けた。平成25年4月の開設に向け準備を整えた。</p>	III	<p>(4) 患者中心の医療の提供 項目番号12 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。</p> <p>また、カルテ等の医療情報の情報開示については、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて適切に対応する。</p>	<p>◆名札の裏面に「患者さんの権利」を印刷し、医療者・病院職員としての倫理観の確立に努めた。 ◆カルテ等の医療情報開示は、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて対応した。</p>	III																													
										<p>カルテ開示請求件数・開示件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	請求件数	59	56	72	開示件数	59	56	72	<p>【カルテ開示請求件数・開示件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>25件</td> <td>34件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>25件</td> <td>34件</td> <td>61件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	請求件数	25件	34件	62件	開示件数	25件	34件	61件	<p>カルテ開示請求件数・開示件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>7件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>7件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table>		22年度
	H22	H23	H24																																			
請求件数	59	56	72																																			
開示件数	59	56	72																																			
区分\年度	H22	H23	H24																																			
請求件数	25件	34件	62件																																			
開示件数	25件	34件	61件																																			
	22年度	23年度	24年度																																			
請求件数	7件	3件	4件																																			
開示件数	7件	3件	4件																																			
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																														
	H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果																											
	III	III			III	III			III	III																												

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																				
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																			
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																		
<p>(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンド・オピニオンの推進 項目番号13 治療にあたって必要な情報を患者が理解できる言葉で提供、説明し、十分な助言のもとに自分自身の医療を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底させる。説明の場には、可及的に医療従事者が同席する。治療や検査を受けるにあたり、より良い判断をするために、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備する。当センターのセカンドオピニオン外来を充実させ相談件数の増加を図る。</p>	<p>・平成24年2月に取得（更新）した病院機能評価を契機に患者にわかりやすい説明が行えるよう各診療科が管理する「同意書」（506件）の内容を点検し、項目等について統一化することで、インフォームドコンセントの徹底を図った。 ・H24年度においては、同意書等を新たに39件追加したほか、1件について内容の見直しを行った。</p> <p>・セカンドオピニオン実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>64</td> <td>41</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	外来受入	21	21	26	他院紹介	64	41	47	III	<p>(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 項目番号13 治療に必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を選択できるようにインフォームドコンセントを徹底する。また、全職員を対象とした研修を実施する。</p> <p>セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに掲載し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。</p> <p>【セカンドオピニオン実施件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>5件</td> <td>11件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>48件</td> <td>74件</td> <td>69件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	外来受入	5件	11件	12件	他院紹介	48件	74件	69件	III	<p>(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 項目番号13 患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームドコンセント・セカンドオピニオンを徹底する。</p> <p>患者・その家族には、 ・セカンドオピニオン制度の説明により治療方法を選択する機会を提供 ・入院時の入院診療計画の提示 ・手術や検査の事前説明 を行い、説明と同意に基づく治療の推進を徹底した。</p> <p>セカンドオピニオン実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>6件</td> <td>7件</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※セカンドオピニオン外来は標榜しておらず一般外来として受け入れている。</p>		22年度	23年度	24年度	外来受入	—	—	—	他院紹介	6件	7件	6件	III
	H22	H23	H24																																							
外来受入	21	21	26																																							
他院紹介	64	41	47																																							
区分\年度	H22	H23	H24																																							
外来受入	5件	11件	12件																																							
他院紹介	48件	74件	69件																																							
	22年度	23年度	24年度																																							
外来受入	—	—	—																																							
他院紹介	6件	7件	6件																																							
◎特筆すべき点・進捗状況評価	に関する意見・その他コメント		◎特筆すべき点・進捗状況評価	に関する意見・その他コメント		◎特筆すべき点・進捗状況評価	に関する意見・その他コメント																																			
	H22 検証 結果	H23 検証 結果		H22 検証 結果	H23 検証 結果		H22 検証 結果	H23 検証 結果																																		
	III	III		III	III		III	III																																		

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院						
H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価	H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価	H24 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己評価
		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項				
<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>項目番号 14</p> <p>運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。</p>		<p>・岐阜県総合医療センター運営協議会を開催し、地域の代表者等と意見交流を図り、病院運営に反映した。</p> <p>委員：地元自治会、青年団、老人クラブ、教育関係者、医師会、社会福祉協議会、経営者、保健所、消防署の代表者で構成</p> <p>開催：平成24年12月、平成25年3月</p> <p>主な議題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県総合医療センターの概要、運営状況（収支）、新棟整備計画について ・法人関係新聞報道記事等について <p>・当センターの新たな取り組みについて、実際の現場を委員にご覧いただいた。</p>		III	<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>項目番号 14</p> <p>地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、地域住民のニーズを把握する。</p> <p>外来及び入院患者を対象とした患者満足度調査を引き続き実施する。</p> <p>収集した患者や地域住民からのニーズについては、積極的に病院運営に反映させる。</p>		<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>・病院運営協議会を開催し、近隣の医療機関との機能分化や連携強化、医療従事者の育成確保、災害拠点病院としての取り組みなどについて意見交換を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>H25.2.4 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療連携強化の取り組みについて ・医療従事者の確保・育成について ・災害時における医療の確保について ・各種イベント等の開催について </div> <p>・外来及び入院患者を対象とした患者満足度調査を平成25年1月に実施した。</p> <p>・調査結果のうち、満足度3.5以下（5点満点）のものについては、各部門において検討し、改善できるものは直ちに実行した。それ以外のものは今後の検討課題として、院内での情報共有を図った。</p>		III	<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>項目番号 14</p> <p>患者や周辺住民を対象とした病院満足度調査を実施するとともに、その結果を病院運営に反映させる。</p>		<p>◆患者満足度調査</p> <p>退院時アンケート調査を2回実施 （6月・10月：各1ヶ月間）</p> <p>対象患者： 6月 201名 10月 221名</p> <p>外来患者満足度調査を実施（11月）</p> <p>対象外来患者：1, 565名</p> <p>調査結果は接遇委員会が中心となって検討を行い、各部署の課題を改善するように努めた。</p> <p>◆地域住民との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェック・健康相談やアロマによるハンドマッサージを行い、地域の人々との交流に努めた。 24年度 2回実施(利用者約160名) ・下呂温泉祭り行事協力委員 「いで湯卓球大会」4/13-15 救護班3名 「龍神火祭り」8/1-3 救護班8名 「龍神火祭り」では病院職員が御輿の担ぎ手としても参加し、地域の方々と病院職員の交流に努めた。 <p>◆院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内の掲示板でフィードバックするなど患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院職員の態度や言葉遣いに関する意見 45件 <p>◆ピンクリボンキャンペーン（乳がん検診の早期受診推進運動）への参加</p> <p>10/21(日)マンモグラフィ（乳房X線診断装置）乳がん無料検診を実施。今回は寄付金を活用したため、検査料は無料とし、41名が受診した。</p>		III
◎特筆すべき点・進捗状況評価		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価		H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果
		III	III				III	III				III	III	

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院					
H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項					業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項					業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		
<p>(7) 患者支援システム(メタボリックシンドローム予防センター)の創設 項目番号16 ①生活指導教室、②特殊外来(女性外来、漢方外来、メタボリック生活指導外来、禁煙外来、もの忘れ外来、頭痛外来など)、③緩和医療、④服薬指導、⑤栄養指導、栄養サポートなど診療に患者自身が参加し、患者が守るべき療養上の課題について学ぶ機会を多方面から提供する。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。また、⑥総合相談センター(平成23年度設置)による患者が相談しやすい体制をつくる。</p>	<p>・メタボリックシンドローム予防センターを中心とした「患者教育」に重点をおいた生活習慣病の予防(患者支援システム)の構築を目指した。</p>			III									
	① メタボリック予防センター診療実績												
		H22	H23	H24									
	メタボ外来	370 人	661 人	325 人									
	メタボ看護外来	178 人	137 人	53 人									
	② 生活指導教室												
		H22	H23	H24									
	糖尿病教室	44 人	87 人	85 人									
	肝臓病教室	—	21 人	41 人									
	③ 専門外来												
○女性外来													
	H22	H23	H24										
初診	118 人	176 人	192 人										
再診	1,001 人	1,436 人	1,758 人										
○禁煙外来													
	H22	H23	H24										
初診	29 人	64 人	68 人										
受診者	105 人	300 人	290 人										
禁煙成功	10 人	41 人	42 人										
④ 褥瘡ケア													
	H22	H23	H24										
院内発生件数	113 件	128 件	133 件										
院内発生率(%)	0.575	0.654	0.652										
看護外来													
	H22	H23	H24										
フットケア	161 人	172 人	212 人										
在宅指導	345 人	312 人	145 人										
NST 依頼件数													
	H22	H23	H24										
	131 件	264 件	421 件										
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証 結果	H23 検証 結果	検証 結果							
				III	III								